# (29) バレイショ ア 殺菌剤

ア	1			s 1.	_						-	
						病	害	虫	名			
		疫	菌	黒	黒	そ	軟	粉				
								状				
				. 1-	. 14	,		扒				
農薬名成分名	FRAC			あ	あ	ク		そ				注意事項
	コード		核				腐					任 总 <b>尹</b> 垻
				ざ	ì	カュ		う				
				Ú		/3-		<i>ک</i> ر .				
								カュ				
		病	病	病	病	病	病	病				
アグレプト水和剤	0.5											
ア グ レ プ ト 水 和 剤 マ イ シ ン 2 0 水 和 剤	25	0				0	0					
アタッキン水和剤ストレプトマイシン・チオファネートメチル	25.1				0	0						
アミスター20フロアブルアゾキシストロビン	11	0		0								
エキナイン顆粒水和剤シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピル	27.40	0										
エ コ メ イ ト 非病原性エルドニア カロトボーラ							0					
$\vec{N}$ $\vec{A}$							0					
	22	0										
エムダイファー水和剤が初	M03	0										
オラクル顆粒水和剤アミスルブロム	21							0				
カ ス ミ ン ボ ル ド ー カ ッ パ ー シ ン 水 和 剤	24·M01	0					0					
カッパーシン水和剤 /// *********************************												
カーゼートPZ水和剤シモキサニル・マンゼブ	27·M03	0										
カーニバル水和剤ジメトモルフ・TPN	40 · M05	0										
カ ナ メ フ ロ ア ブ ル インピルフルキサム カ ン パ ネ ラ 水 和 剤 ハ、ィマトュデンレテ゚。゚。゚。゚。゚。	7			0								
カンパネラ水和剤 ベンチアカルブイソプロピル・マンゼブ ベネセット水和剤	40·M03	$\odot$										
コ サ イ ド 3 0 0 0 水酸化第二銅	MO1	0				0	0					
ザンプロDMフロアブルアメトクトラジン・ジメトモルフ	45.40	0				0	0					
サ ン ボ ル ド ー 塩基性塩化銅	M01	0										
シードラック水和剤金属銀	- MO1	9				0				-		
ジマンダイセン水和剤ではず	M03	0				9				-		
スターナ 水 和 剤 オキンリニック酸	31	9					0					
セイビアーフロアブル207ルジオキソニル	12					0	9					
ゾーベックエンカンティアSE オキサチアピプロリン・ファモキサドン	49.11	0				9				_		
y - x y y + y y y y y y y y y y y y y y y y		0										
ダイナモ顆粒水和剤アミスルブロム・シモキサニル	21 • 49	0										
	21.27	_								-		
ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0 TPN	M05	0										

					適	用	病	害	虫	名			
			疫	菌	黒	黒	そ	軟	粉				
									LIS				
									状				
曲		FRAC			あ	あ	う		そ				分 · 辛 · 唐 · 语
農薬名	成 分 名	コード		核				腐					注意事項
					ざ	l	カュ		う				
					J	0	/3		カ				
									/3				
			病	病	病	病	病	病	病				
		MO1	0										
	チオファネートメチル	1		0									
		M01·25	0			0	0	0					
		31·M01						0					
		36					0		0				
	メフ゜ロニル	7			0								
		U18			0			0					
	チフルサ*ミト*	7			0								
		MO1	0					0					
	メタラキシルM・TPN	4·M05	0										
フェスティバルC水和剤		40·M01	0					0					
		27·M05	0										
		40·M05	0										
		29	0	0			0		0				
		29	0	0			0		0				
		29					0		0				
		27 • 40	0										
		27 • 11	0					6					
マ テ リ ー ナ 水 和 剤 モンカットプラスフロアブル		31.25			6		6	0					
モンカットフロアブル 4 0		12.7			0		0			-		-1	
モンセレン顆粒水和剤	***	20			0								
		M01			9		0						
•		MO1 MO1	0				0	0				-	
		21	0				9	$\odot$		-		$\dashv$	
	チオファネートメチル・マンネフ゛	1·M03	0										
		21	0									-	
リライアブルフロアブル			0							_	+	$\exists$	
リゾレックス水和剤		14	.)		0								
	17 7 37 7 7 7				·)								

				j	適	用	病	害	虫	名		
			疫	菌	黒	黒	そ	軟	粉			
農薬名	成 分 名	FRAC コード		核	あざ病	あし病	カュ	腐病	状 そ う か 病			注意事項
リドミルゴールドMΖ	マンセ゛フ゛・メタラキシルM M		0							1		
リンバー顆粒水和剤	フラメトヒ°ル 7	'			0							
	マンシ゛フ゜ロハ゜ミト゛ 4・	:0	0									
I C ボルドー 6 6 D	塩基性硫酸銅 M	101	0								Î	
Z ボ ル ド ー	塩基性硫酸銅 M	101	0					野				野:【野菜類登録】

# (29) バレイショ イ 殺虫剤

1   权												
				適	用	病	害	虫	名			
		ア	ジ	テ	Ξ	オ	日	ハ	ワ	ネ	ネ	
				ン	ジ	オ				グ	コ	
		ブ	ヤ	卜	ユ	ニジ	<b>ا</b>	ス	タ	サ	ブ	
	IDAC			ウ	ウ	2	1,	モ	ア	V	セ	
農薬名成分名	I R A C コード	ラ	ガ	4	ヤ	ウ	. 7.			セ		注意事項
		,	,	シ	ホ	ヤホ	ウ	ン	ブ	ン	ン	
		ム	1	ダ	シテ	シ		彐	ラ	チ	チ	
		シ	モ	7	ン	テ	ム	1	,	ユ	ユ	
			_	シ	٠ ١	ン		  -	ム	ウ	ウ	
		類	ガ	類	ゥ	ゥ	シ	ウ	シ	類	類	
ア ク タ ラ 顆 粒 水 溶 剤 チアメトキサム	4A	0		0								
ア ク タ ラ 粒 剤 5 チアメトキサム	4A	0										
ア グ ロ ス リ ン 水 和 剤タペルメトリン	3A	0										
アディオン乳剤ペルトリン	3A	0		0								
アドマイヤー顆粒水和剤(ミダクロプリド	4A	0				0						
ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤 イミダクロプリド	4A	0										
アドマイヤー水和剤イミダクロプリド	4A	0										
ウ ラ ラ D F フロニカンド	29	0										
エ ル サ ン 乳 剤 PAP	1B	0			0		0	0				
エ ン セ ダ ン 乳 剤プロフェノホス	1B	0		0			0					
オルトラン水和剤アセフェート	1B		0	幼			0					幼:【テントウムシダマシ幼虫に適用】
オルトラン粒剤アセフェート	1B	0										
コルト顆粒水和剤ピリフルキナゾン	9B	0										
ジェイェース粒剤アセフェート	1B	0										
ス ミ チ オ ン 乳 剤MEP	1B	0		0								
ダ ン ト ツ 粒 剤 クロチアニジン	4A	0										
ダーン トーツ 水 溶 剤 クロチアニジン	4A	0		0								
チェス顆粒水和剤ピメトロジン	9B	0										
テルスター水和剤ビフェントリン	3A	0										
デルフィン顆粒水和剤BT	11A							イ				イ:【イモ類登録】
トクチオン乳剤プザホオス	1B		0				0					
トレボンエアーエトフェンプロックス	3A	無										無:無人航空機利用
ト レ ボ ン 乳 剤 ト レ ボ ン E W エトフェンフ゜ロックス	3A	0										
ネマキック液剤 イミンアホス	1B									0		
ネマキック粒剤 イミンアホス	1B									0	0	
7.55	•						-	•				

						•											
									適	用	病	害	虫	名			
農辰	薬	名	成	分	名	I RAC コード	ア ブ ラ ム シ 類	ジャガイモガ	テントウムシダマシ類	ニジュウヤホシテント	オオニジュウヤホシテント	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ワタアブラムシ	ネグサレセンチュウ類	ネコブセンチュウ類	注意事項
ネマク	IJ —	ン・粒・タ	」フルオヒ <sup>°</sup> ラム				規	//	炽	ウ	ウ	~	ソ	~	<u>類</u>	(図)	
ネマトリ			」 ホスチアセ゛ート			1B	0								0	0	
バイデ	<u> </u>		オキサミル			1A	0								0	•	
パダン	S G		カルタップ。			14	0	幼							0		幼:【若齢幼虫に適用】
	ハチ		」 トルフェンヒ <sup>°</sup> ラ1	, 8		21A	0	-24									Z THE SECTION
バリアー	ド顆米		チアクロフ゜リト゛			4A	0										
ベスト	ガード		ニテンヒ。ラム			4A	0										
ベジ	ホン		」シ゛メトエート・フ	フェンハ゛レレ		1B•3A	0										
ベネ	ビア	О Г	シアントラニリフ	7゜ロー <i>ル</i>		28	0						0				1. ストロビルリン系薬剤を含む農薬および銅剤との混用はしない。 2. 展着剤は加用しない。
マッ	チ	乳 斉	ルフェヌロン			15							0				
マブリッ	ク水利	和 剤 2 0	フルハ゛リネート			3A	0										
ミネクトン	スター顆	粒水和剤	シアントラニリフ゜	ロール・ヒ゜	メトロシ゛ン	28•9B	0										
モスピラ	ン顆米	立 水 溶 斉	J アセタミフ゜リト゛			4A	0	0	0								
モスピ			J アセタミフ゜リト゛			4A	0										
モスピ	ラン S		J アセタミフ゜リト゛			4A	0		0								
モベン	トフロ		スピ゜ロテトラマト	`		23	0										
ランネ・	ート 4	5 D F	メソミル			1A	0	0		0							

### (29) バレイショ ウ 土壌消毒剤

	.) 工場	大月 母 川						1				\le	-				-			1	
												適	用	病	害	虫	名				
									ケ	ネ	ハ	セ	ネ	ネ	青	萎	亀	そ	粉	黒	
										丰	IJ	ン	グサ	コブ					状		
	農	薬	名		成	分	名	RAC コード		IJ	ガ、	チ	レセ	セ			の	う	そ	あ	注意事項
	,,,,	2,12			,,,		.,	I:殺虫 F:殺菌		ム	ネム	ユ	ンチ	ンチ	枯	凋	甲	カュ	う	ざ	— 1 <u>-</u> , , ,
										シ	シ	ウ	ュウ	ュウ			'		カュ	,	
									ラ	類	類	類	類	類	病	病	症	病	病	病	
ガバ	スタスア	ー ド ミ ド	微 粒 微 粒	剤剤	タ゛ソ゛メット			I:8F								0		0	0	0	
キ	ル	, ,	°	_ ;	カーハ゛ムナトリウム	塩		I:8F										0			
ク	п —	ルピ	クリ	ン	クロルヒ゜クリン			I:8B	0	0	0	0			0		0	0			
クドド	ジョロ	ピカピロクロ	8 ク リ ー	0ンル	クロルヒ <sup>°</sup> クリン			I:8B		0	0	0			0			0			
ク	ロル	ピクリ	ン錠	剤	クロルヒ゜クリン			I:8B				0			0						
ソ	イ	IJ	Ţ	ン	クロルヒ <sup>°</sup> クリン・Γ	)-D		I:8B•8A					0	0	0			0			
ダ	ブル	スト	ッパ	_	クロルヒ <sup>°</sup> クリン・Γ	)-D		I:8B•8A					0	0		0		0			
テ D D	С	口 2 一 1		ン 剤 D	D-D			I:8A					0	0	0			0			

#### エ 病害虫防除法(バレイショ)

#### (ア) 青枯病 Ralstonia solanacearum

#### (防除のねらい)

主に土壌感染するが、罹病種いもによる伝染も起こる。春作では収穫期に近くなるほど、秋作では9~10月に残暑が続き雨が多いと多発することがある。ネコブセンチュウの加害は本病の発生を助長するので、殺線虫剤使用によって発病をある程度は抑制できる。

#### (耕種的防除法)

- (1) 無病種いもを用い、発病株は抜き取る。
- (2) 秋作では気温が下がり始める頃に植え付ける。
- (3) 排水をよくする。

#### (イ) 疫 病 Phytophthora infestans

#### (防除のねらい)

伝染源は罹病種いもや畑に放置された屑いもなどである。秋作より春作の $5\sim6$ 月,雨が多いほどまん延する。春作では,植付 $50\sim60$ 日後頃,開花期を過ぎて雨天日が多く,平均気温が $15\sim16$ ℃で,降雨が数日続くと発生し,曇雨天( $18\sim20$ ℃)で経過すると発病が激化する。発生を認めてから薬剤散布を行っても効果が十分でないので予防散布に努める。また,塊茎腐敗となる新いもへの感染は,多量の降雨があり,地温が16℃以下で多発し,18℃では少なく20℃以上ではほとんど生じない。とくに,地上部での病斑が多く,収穫時にいも表面に胞子が付着しやすい条件で多発する。

#### (耕種的防除法)

- (1) 常発地では耐病性品種を選ぶ。メークイン、デジマは本病に弱い。シマバラ、農林1号は強く、ニシユタカは中である。
- (2) ポリマルチをすると発生が少ない傾向がある。
- (3) 塊茎の収穫時感染防止には天気の良い日に掘り取り、土をよく乾かしてから貯蔵する。
- (4) 種いもは健全なものを選ぶ。

#### (ウ)黒 あ ざ 病 Rhizoctonia solani

#### (防除のねらい)

春作, 秋作とも発生するが, 春の成熟栽培に発生が多い。種いもによる伝染が強く, 種いもの消毒の必要性が高い。

#### (耕種的防除法)

- (1) 無病種いもを選ぶ。
- (2) 無硫酸根肥料を施す。酸性土壌で発病が多いので矯正する。
- (3) 寄主以外の作物と3年以上の輪作をする。
- (4) 種いもは健全なものを選ぶ。

#### (エ) そうか病 Streptomyces scabies

#### (防除のねらい)

土壌伝染と種いも伝染し、病原菌は長期間土壌中で生存する。発病は見かけ上、土壌pH4.7~4.8を境にして、これより上昇すれば発病は増加し、低ければ平衝状態か減少傾向をたどる。なお、種いも伝染は強酸性土壌でも起こる。いもの形成期に土壌が乾燥すると多発する。石灰や堆肥を多く施用すると発生を助長する。塊茎肥大初期に土壌が乾燥すると発生が多くなる。クロールピクリン剤による土壌消毒効果はpH5以下では安定した効果が認められるが、pH5以上の土壌ではその効果が現れにくい場合がある。また、土壌消毒は場に感染種いも(見かけ上健全でも)を植えると発病はかえって増加するので、必ず種いも消毒を実施する。

#### (耕種的防除法)

- (1) 土壌pH4.5~4.8の酸性条件で栽培する。
- (2) 連作を避け、無病種いもを使用する。
- (3) 耐病性の強い品種を栽培する。シマバラはやや強く、デジマ、農林1号は中程度、ニシュタカは弱い。

#### (才) 軟 腐 病 Erwinia carotovora subsp.carotovora

#### (防除のねらい)

多数の作物を侵す土壌伝染性病害である。生育中の茎葉の被害よりも貯蔵中のいもの腐敗が問題となる。初め地面に接した小葉に不整形で水浸状の軟腐病斑を形成する。この病斑は速やかに葉柄、主茎に進行し、その後、いもに達するので、小葉の発病初期に防除を行う。収穫期に雨が多い時や水田に栽培したとき発生しやすいので、排水に留意し、適正な栽培、収穫、貯蔵を守るようにする。

#### (耕種的防除法)

- (1) カリが不足しないよう施肥量を適正にする。
- (2) 収穫は傷を着けないようにし、強日射にさらさないようする(春作)。冷涼なところに貯蔵する。
- (3) 発病の多いほ場では種いもは切断せず、丸いもを使用する。
- (4) ほ場の排水をよくする。

#### (カ) 粉状そうか病 Spongospora subterranea (防除のねらい)

病原菌は種いもまたは土壌中で越年し伝染源となる。水田など多湿土壌で発生し易く、塊茎肥大初期に雨が多いと発生し易い。病原菌は土壌中で3~5年以上生存し薬剤による適当な防除法がないので、耕種的防除を積極的に励行する必要がある。

#### (耕種的防除法)

- (1)無病種いもを使用する。
- (2) 排水を良くする。特に水田裏作の場合に注意する。
- (3)輪作を行う。
- (4) 耐病性品種を使用する。

#### 粉状そうか病に対する品種耐病性

強	中	弱
農林1号	タチバナ シマバラ	ウンゼン チ ヂ ワ
メークイン	デジマ	男爵いも

#### (キ) 輪腐病 Clavibacter michiganense pv.sepedonicum

#### (防除のねらい)

伝染は種いもで、罹病種いもを切った刃物でも伝染する。開花期頃から地上部の病徴が現れるので、見付け次第取り除くことが必要である。

#### (耕種的防除法)

- (1)無病種いもを選ぶ。
- (2) 種いもの切断刃は数秒間熱湯につけて消毒する。
- (3)被害株は除去する。

#### (ク)モザイク病 PVY

#### (防除のねらい)

主な病原ウィルスはジャガイモウイルスY (PVY) である。種いもによって伝染するほか、アブラムシ類によっても伝染する。アブラムシ類防除だけでは効果が顕著でないので、耕種的防除を主に行う。

#### (耕種的防除法)

- (1) 発病株を早めに抜き取る。
- (2)種いもはやや早めに掘り取る。

#### (ケ)葉巻病 PLRV

#### (防除のねらい)

ジャガイモ葉巻ウイルス (PLRV) はアブラムシによって永続伝搬されるほか, 種いもによっ ても伝染する。感染したいもを植えると、萌芽3週間ぐらいで葉巻症状が現れる。発病株は、速 やかに抜き取り除去することが大切であるが、生育初期2~3週間が感染し易いため、伝染の防 止には生育初期にアブラムシを防除するのが最も有効である。

#### (耕種的防除法)

- (1) 発病株を早めに抜き取る。
- (2) 耐病性品種を用いる。シマバラは強く、ウンゼン、デジマは中、ニシユタカ、農林1号、 タチバナ,メークインは弱い。

## (コ) アブラムシ類 (防除のねらい)

吸汁による直接被害より、ウイルス媒介が問題となる。特にタバコ黄斑えそ病の発生に関係す るので注意する。乾燥が続くと、とくにワタアブラムシが急激に増えるので注意する。

#### (耕種的防除法)

ポリマルチをすることで防除回数を軽減できる。

#### (サ) ジャガイモガ

#### (防除のねらい)

生育中、時として貯蔵中のイモも食害される。春秋作とも萌芽間もない頃から被害が出始める。 貯蔵中の食害は夏季に多いので、生育中の防除を徹底し、発生源を持ち込まないようにする。

#### (耕種的防除法)

- (1) 栽培期間中、イモが露出しないよう培土をよくする。
- (2) 掘り取ったイモはほ場に長く放置しない。
- (3) 貯蔵したイモは寒冷紗、こも、不織布などで覆う。

#### (シ) ネキリムシ類

#### (防除のねらい)

被害は4~5月と9~10月に多い。生育初期の地際部の切断防止をねらって薬剤処理を行う。

#### (ス) ニジュウヤホシテントウ (テントウムシダマシ)

#### (防除のねらい)

春作では4月下旬頃から越冬成虫が飛来後、食害して産卵を始め、5月下旬には幼虫食害が重 なり被害が目立つので、アブラムシとの同時防除で成虫を併殺する。秋作では9月中~10月中旬 にかけて発生するが, 発生量は地域間差が大きい。

#### (耕種的防除法)

春作ジャガイモは早植えする。

#### (セ) ケラ

#### (防除のねらい)

5~6月頃の被害が多い。気温が10℃前後から活動し始める。発生地帯では作付前に土壌殺虫 剤を施す必要がある。